

教科(科目)	家庭（家庭総合）	単位数	2単位	学年(コース)	2年次 必履修
使用教科書	第一学習社 『高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる』				
副教材等	第一学習社 『最新家庭 生活ハンドブック 資料&成分表』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①地域と連携する活動をととして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。 ②防災減災学習や地域理解学習をととして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。 ③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①基本的な生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をととして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。 ②3年間の系統的で継続的な「白嶺HS J（ホップ・ステップ・ジャンプ）」プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。 ③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

2 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

3 指導の重点

生活を主体的に営んでいく力を身につけるために、

- ①自ら考え、発言（記述）する機会を多く設け、思考力や表現力を養うことを目指します。
- ②実践的・体験的な活動を通して、積極的に他者とのコミュニケーションを図ったり、他者と協働して課題を解決したりする態度を育てます。
- ③生活の課題を見つけ、解決するために必要な知識や能力の獲得を目指します。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭・衣食住・消費や環境などについて理解していると同時に、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ワークシートをはじめとした提出物の内容（レポートやワークシートなど） ・定期考査 ・実習への取り組み ・実技試験 などから、評価します。	以上のことを踏まえ、 ・定期考査 ・授業への取り組み（授業中の発言、発表や討論への取り組みなど） ・提出物の内容（レポートやワークシートなど） などから、評価します。	以上のことを踏まえ、 ・授業への取り組み（授業中の発言、発表や討論への取り組みなど） ・提出物の内容（レポートやワークシートなど） ・実習への取り組み などから、評価します。
	各観点「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。		

5 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6	1. 衣生活をつくる	布 洗剤 布 アイロン 裁縫道具	・衣服の機能を理解し、快適で健康的に着用することを考える。 ・被服材料と着心地や機能性との関連を理解する。 ・裁縫実習を通して、基礎縫いの技術を身につけ、自分の衣服の修繕ができるようになる。	18	授業の取り組み（行動の様子） ワークシート（記述の確認） 提出物・作品（完成度） a, b, c 定期考査（解答の確認） a, b
7	2. 持続可能な社会を目指して	ワークシート	・便利な暮らしと持続可能なライフサイクルについて理解する。エシカル消費やフェアトレードについて考え、発表する。	4	ワークシート（記述の確認） a, b, c 発表の様子（行動の確認） 授業の取り組み（行動の確認） b, c
8	3. とともに生きる	視聴覚教材 ワークシート	・共に支え合うことの必要性や社会保障制度の仕組みを知り、支え合う社会の構造を理解する。	2	ワークシート（記述の確認） a, b, c 授業の取り組み（行動の様子） b, c
	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	ワークシート マジ野菜レシピ	・健康を維持するために必要な野菜の摂取量を確保できるレシピを考案し、発表する。	3	ワークシート・レシピ（内容・記述の確認） a, b 発表の様子（行動の様子） c
9 10 11	4. 子どもと共に育つ	保育人形 幼児のおやつ チャイルドスコープ ワークシート など	・人の命が生まれるしくみや子どもの成長・発達について正しく理解する。 ・一生を見通した視点で、子どもとのかかわり方などを考える。	18	授業の取り組み（行動の様子） 発表の様子（行動の確認） ワークシート（記述の確認） a, b, c 定期考査（解答の確認） a, b

12 1	5. 高齢社会 を生きる	ワークシ ート 視聴覚教材	・年をとることについて考え、発生する課題と解決方法を考える。 ・高齢社会の仕組みを知り、それらを支えていく意識と能力を身につける。	15	授業の取り組み（行動の様子） 発表の様子（行動の確認） ワークシート（記述の確認） a, b, c 定期考査（解答の確認） a, b
2 3	6. 住生活をつくる	間取り図 掲示物 ワークシ ート	・住生活の成り立ちや変遷、健康的で安全に暮らすための術を学習する。また、一人暮らしをする際に必要な事柄について理解する。	10	授業の取り組み（行動の様子） ワークシート（記述の確認） a, b, c

計 70 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

- ・単元ごとに1つ以上のワークを設定しています。
- ・実習は、さまざまな面で安全が第一です。十分に気を付け、しかるべき身だしなみで、担当者の指示に従ってしっかりと取り組みましょう。
- ・ファイルの提出があります。毎時間ワークシートを記入し、整理してファイルにとじましょう。

7 担当者からの一言

授業として学習する家庭科は、専門的な分野に進まないかぎり高校が最後になります。高校卒業後は、家庭科の学習内容を毎日実践することになります。そのために必要な知識や技術を獲得して、自分や家族の生活をより充実させることを目指しましょう。小・中学校で学んできた内容よりも一歩踏み込んだ学習になりますので、難しいと感じる場面もあると思います。そんな時に、仲間と話し合い、助け合い、問題を解決していく授業こそが家庭科です。日々の暮らしに起こる小さな気づきが、家庭科の学びのチャンスです。頑張りましょう！

（ 担当： 星野 千春 ）